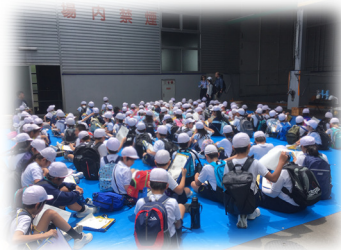


工場見学に来ていただきました！

—高松市立国分寺南部小学校 第4学年の皆様—

平成最後の金曜日の4月26日（金）、高松市立国分寺南部小学校 第4学年119名の皆さんが「すみよいくらしをささえる—ごみの処理と利用—」の学習の一環で国分寺工場に来ていただきました。これから環境について学ぶということで、なぜリサイクルが必要なのかも説明しました。

手作業で色ごとにビンに分けていくことや、磁石を用いた特殊な機械によってスチール缶とアルミ缶を選別していること、選別後のスチール缶がサイコロ状に圧縮されて機械から出てくる様子などを見てもらいました。



缶・ビン・ペットボトル・容器包装プラスチックをどう分けていくのか、分けた後どうなるのか等、自分たちの生活に身近な資源の“その後”に興味を持ってもらえたようで嬉しかったです。



見学中、「くさい！」という声はあまり聞こえてきませんでしたが、時折見せる鼻をつまむ仕草から、ニオイを感じた人が多かったように思います。もちろん、缶・ビン・ペットボトルや容器包装プラスチック自体にはほとんどニオイがありません。

ニオイの原因は、缶・ビン・ペットボトルの中の飲み残しや容器包装プラスチックに付着した汚れや食べ残しが腐ったものだと考えられます。これらはニオイ以外にも、他のキレイに出されたものを汚してリサイクルできなくしてしまいます。汚れた資源はリサイクルした時の品質が悪くなってしまうからです。また、中身を空っぽにするのに手間も掛かります。

リサイクルに出す際は、キレイにして出してください。

- ☑缶・ビン・ペットボトルの中身が空かどうか確認しましょう。
- ☑容器包装プラスチックに付着した汚れや食べ残しは、拭き取ったり水で洗ったりしましょう。
- ☑決められた収集日に決められたものを出しましょう。



私たちリソーシズでは、限りある資源を未来へつなぐためにリサイクルをしています。皆さんが日常生活で当たり前手にしているものは資源からできています。そして資源は無限にあるわけではありません。無くなってしまうと生活が不便になり、今のような生活はおくれなくなるでしょう。この資源を残していくには、ゴミを減らし資源を繰り返し使う3R（リデュース・リユース・リサイクル）の心掛けが大切です。未来に資源を残しましょう。ご協力をよろしくお願いします。

